臺灣日日新報 第一万五千百二十六號 昭和十七年四月二十七日（月曜日）（可包物郵便物認可）

臺灣新報

本日四頁

大東亞戰下初の天長節
宮中に嚴かな御儀
觀兵式へ行幸仰出さる

【東京發同盟】殿くも晴れて天皇陛下には二十九日御自出ましあそばされ午前十一時の天長の佳辰を迎へさせられる、陛下には大元帥陛下初の天長節であるが、殿くも宮中におかせられては午前十時宮中三殿において謹かな天長節祭、陛下には大元帥陛下には儀仗の閲兵に臨ませられ、東郷外務大臣有末侍從武官長に續いては午前九時より午後四時までの間に謁見を賜はり、また午後は

茶、鳳梨的將來と加糖工業

南進臺灣に製菓工場の移出

一

臺灣茶業界に於ける前方發展の重要時、文化方面に對し關心深き事は喜ばしきことなるも、時に前方發展の問題に關し、偏狹なる主張或は不合理なる意見を發表し、徒らに人心を惑はすが如きことは絶對に戒めねばならぬ。茶業の前方發展に關しても、或る人士の間に於ては、茶業は臺灣の特産であるから、臺灣人の手に依つて經營すべきであるとか、或は

沈み行く艦橋離れず

従容・乗員退艦を指揮

清水艦長・ロンボック海峡に散る

【東京發同盟】○○海域にて巡洋艦清水(基準排水量一千五百噸)艦長清水○○大佐は昨二十五日——まだ三月二日わが軍が○○○○沈めはポンタク海峡北口において敵艦隊と激戦を交えたが、清水艦長は敵艦を○○○○沈に追込んだが、自艦も敵弾を受けて航行不能となり、艦長は部下将兵の安全退艦を見届けた上、自ら艦と運命を共にし艦橋に仁王の如く立ち、従容として艦と共に○○○○沈に没した

一月五日午後○○○○沈に没したが、艦長は最後まで艦橋に踏みとどまり、艦と運命を共にしたのである、艦と共に沈んだ艦長は、艦橋に立ち、艦橋の羅針儀に両手をかけ、仁王の如く立ち、艦と運命を共にしたのである、艦長は最後まで艦橋に踏みとどまり、艦と運命を共にしたのである、艦長は最後まで艦橋に踏みとどまり、艦と運命を共にしたのである

艦長の決意が艦内にみなぎり、将兵一同、艦長と運命を共にしたのである、艦長は最後まで艦橋に踏みとどまり、艦と運命を共にしたのである

艦長 の決意が艦内にみなぎり、将兵一同、艦長と運命を共にしたのである、艦長は最後まで艦橋に踏みとどまり、艦と運命を共にしたのである

艦長 の決意が艦内にみなぎり、将兵一同、艦長と運命を共にしたのである、艦長は最後まで艦橋に踏みとどまり、艦と運命を共にしたのである

艦長は最後まで艦橋に踏みとどまり、艦

昭和二十年四月廿五日（月曜日）　朝日新聞　第一万五千百廿六号　（第二種郵便物認可）

頑強な敵トーチカ日差し
脱兎の突撃敢行
二勇士セブ島に散る

【セブ島二十四日発同盟】セブ島の戦況は既報の如く終了したが同島攻略に際し幾々の武勲を樹て比島の華と散った二勇士がある――中村貞一郎伊藤伍長、安部清人伍長の三勇士である、三勇士は四月十日早朝セブ島西岸ダロギンの敵前上陸に参加中敵トーチカ陣地の攻略を命ぜられ、三勇士が敵の手榴弾を投擲したのはこの時である、因つた敵は驚愕狼狽を極めたが、安部伍長は中腹から突入したトーチカの入口から突込むや敵兵一名を刺し更に他の一名に飛びついた瞬間敵手榴弾がその間近で炸裂、火を吐く銃のトーチカ陣地に二発、三発と敵陣地に投込んだ、かくてこのトーチカはこの三勇士の犠牲によつて遂にわが手に帰したのである

勅語謄本傳達式

高雄州では二十四日午前十時から州各郡市教育会長を招集、教育勅語謄本の伝達式を挙行、知事より教育勅語の聖旨に則り皇国民錬成の重責を全うすべき旨訓示があつた

多子家庭表彰

【高雄通信】"生めよ殖やせよ、育てよ"の国策に協力して家庭でたくさん子供の出るよう表彰を行ふことゝなつた、その中三十九人は現役将校同様の取扱ひを受ける事と共に皇民錬成の為の講習会に出席する事となつた

臺南州の健民運動
實施方法の詳細決る

【臺南通信】時局下臺南州綜合の作興に資する為左記方法の通り健民運動を実施する

第一回　健民運動準備期間
第二回　結核撲滅期間
第三回　出生増加と結核撲滅期間
第四回　国民生活の科学的合理化期間
第五回　母子保健強調期間
第六回　マラリア、トラホーム防遏期間
第七回　住宅衛生期間
第八回　上記第二回より第八回迄は強調期間として徹底を図る
第九回　市町庄、部落、会社、産業団体、保健組合、婦人団体、寺院、宗教団体、及個人等を網羅して州民全般に亘り健民を図る
第十回　前年度に於ける健民運動の成績を検討して次年度の運動に資する

（注）健民運動とは健康な国民を作る運動

赤誠の獻金

軍司令部（昨）

国防献金　二二四二二円七銭
基督教青年会同盟（昨）　五〇〇円
北斗会（昨）　三〇〇円
高雄州警察協会（昨）　二〇〇円
高雄州国防婦人会（昨）　一〇〇円
高雄州国防婦人会（昨）　一〇〇円
高雄州国防婦人会（昨）　一